

## 1. 略歴

1992年3月	延世大学校社会科学大学社会福祉学科入学（韓国ソウル特別市）
1999年8月	延世大学校社会科学大学社会福祉学科卒業
2000年4月	東京大学大学院人文社会系研究科修士課程（社会学専門分野）入学
2002年3月	東京大学大学院人文社会系研究科修士課程（社会学専門分野）修了
2002年4月	東京大学大学院人文社会系研究科博士課程（社会学専門分野）進学
2003年5月	日本福祉大学21世紀COEプログラム奨励研究員（～2005年3月）
2004年4月	日本学術振興会特別研究員（DC2）（～2005年3月）
2005年3月	東京大学大学院人文社会系研究科博士課程（社会学専門分野）単位取得満期退学
2005年4月	日本学術振興会特別研究員（PD）（～2006年3月）
2006年4月	東京大学社会科学研究所客員研究員（～2007年3月）
2007年3月	博士（社会学）学位取得
2007年4月	東京大学社会科学研究所助教（～2010年3月）
2007年12月	同志社大学社会福祉教育・研究支援センター委託研究員（現在に至る）
2008年10月	北京大学社会学系客員研究員（～2009年1月）
2010年4月	東京経済大学経済学部専任講師（～2012年3月）
2012年4月	東京経済大学経済学部准教授（～2016年3月）
2016年4月	明治学院大学社会学部准教授（～2018年3月）
2018年4月	東京大学大学院人文社会系研究科准教授（現在に至る）

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

福祉社会学, アジア社会論

### b 研究課題

社会学を専門とし、失業・貧困問題や少子高齢化問題などの社会問題、そしてそれに対応するための雇用・社会保障政策および家族政策などの社会政策＝福祉国家政策について研究している。韓国およびアジア諸国・地域を主な対象とし、歴史比較分析を通じて今日の状況を明らかにし、国際比較分析を通じて各国の特徴とその位置づけについて分析を行っている。近年の研究課題は大きく分けて次の2つである。(1) 理論研究として、福祉国家とフォーディズムの歴史的關係性に着目して、従来の福祉国家研究を批判的に検討し、福祉国家を捉える新しい視点を構築すること、(2) 歴史・現状分析として、理論研究を通してえられた新しい視点にもとづいて、韓国およびアジア社会の歴史と現状を分析すること、である。

### c 概要と自己評価

理論研究の課題(1)は、10年以上から取り組んできた(金成垣、『後発福祉国家論——比較のなかの韓国と東アジア』、東京大学出版会、2008年、金成垣編、『現代の比較福祉国家論——東アジア発の新しい理論構築に向けて』、ミネルヴァ書房、2010年)。最近では、「アジアは『福祉後進国』なのか——『福祉国家的でないもの』が示す未来」(埋橋孝文編、『どうする日本の福祉政策』、ミネルヴァ書房、2020年)、「後発福祉国家論の再検討——これまでのアジア研究と今後の課題」(上村泰裕・金成垣・米澤旦編、『福祉社会学のフロンティア』、ミネルヴァ書房、2021年)、「福祉政策の国際比較」(一般社団法人ソーシャルワーク教育学校連盟編、『社会福祉の原理と政策』、中央法規、2021年)などの論文を通して理論的な洗練化を図っている。従来の福祉国家研究は、主に資本主義との関連、とくに資本主義の本質的な矛盾がもたらす失業・貧困問題や資本主義主義の成熟がもたらす少子高齢化問題への対応として、福祉国家の歴史過程を捉える傾向が強い。しかし、その視点からすると、韓国を含むアジア諸国・地域における「福祉国家の未発達」しか説明できない。それに対して、資本主義に発展をもたらした「フォーディズム」に着目することで、福祉国家の歴史過程についての新しい視点を確保することができ、それによって、アジア諸国・地域に関して、「福祉国家の未発達」ではなく、「フォーディズムなき福祉国家」という新しいあり方の福祉国家を浮き彫りにすることができる。その新しい福祉国家は単にアジア諸国・地域に限らず、他の先進諸国に対しても、ポスト・フォーディズムという新しい時代への展望を探るうえで重要な示唆を与えるものであると考えられる。このような問題関心から、歴史・現状分析の課題(2)にも取り組み、「コロナ危機のなかの韓国の社会保障」(『週刊社会保障』、No. 3075、2020年)、「Weak social security but

strong employment security in the Japanese welfare state” (Jea-jin Yang ed. *The Small Welfare State: Rethinking Welfare in the US, Japan, and South Korea*, Edgar Elgar Publishing, 2020 年), 「文在寅政権下の社会保障制度改革」(『週刊社会保障』, No. 3134, 2021 年), 「20 世紀の韓国——なぜ福祉国家の発展がなかったのか」(『韓国朝鮮文化研究』, 第 21 号, 2022 年) などの研究成果を発表している。

以上の研究は、2018 年度から 2020 年度にかけての科学研究費補助金(「後発福祉国家・韓国のベーシックインカムに政策論的研究」(基盤研究(C): 課題番号 18K02123, 研究代表者))をふまえて、2021 年度から 2023 年度にかけての科学研究費補助金(「韓国におけるベーシックインカム構想と後発福祉国家のゆくえ」(基盤研究(C): 課題番号 21K01992, 研究代表者))を受けて進めてきている。それをより発展させるための現地調査を主な目的とした研究課題が科学研究費補助金の交付対象が新しく採択され(「インフォーマル化するアジア——グローバル化時代のメガ都市のダイナミクスとジレンマ」(基盤研究(A): 課題番号 19H00553, 研究分担者, 2019 年度～2023 年度), 「アジアにおけるデジタル化の国際比較——利活用水準、政策体系、電子認証制度に注目して」(基盤研究(C): 課題番号 20K12367, 研究分担者, 2020 年度～2023 年度), 「経済発展のタイミングと福祉国家の多様性」(基盤研究(C): 課題番号 21K0187, 研究分担者, 2021 年度～2023 年度)), 現在、韓国およびアジア各国・地域の現地調査をより活発に進めている。

#### d 主要業績

##### (1) 著書

- 編著, 上村泰裕・金成垣・米澤旦編, 『福祉社会学のフロンティア——福祉国家・社会政策・ケアをめぐる構想力』, ミネルヴァ書房, 2021.11
- 共著, Jea-jin Yang ed. *The Small Welfare State: Rethinking Welfare in the US, Japan, and South Korea*, Edgar Elgar Publishing, 2020.4.
- 共著, 埋橋孝文編, 『どうする日本の福祉政策』, ミネルヴァ書房, 2020.10
- 共著, 岩崎晋也・金子光一・木原活信編, 『社会福祉の原理と政策』, ミネルヴァ書房, 2020.12
- 共著, 一般社団法人ソーシャルワーク教育学校連盟編, 『社会福祉の原理と政策』, 中央法規, 2021.2
- 共著, 埋橋孝文編, 『福祉政策研究入門 政策評価と指標 第 2 巻——格差と不利/困難のなかの社会政策』 明石書店, 2022.3

##### (2) 論文

- 単著, 金成垣, 「コロナ危機のなかの韓国の社会保障」, 『週刊社会保障』, No. 3075, 48-53 頁, 2020.6
- 単著, 金成垣, 「福祉国家研究と政策論——〈社会分析〉と〈政策分析〉の接点を求めて」, 『Int'lcowk』, No. 1105, 16-24 頁, 2020.11
- 単著, 金成垣, 「韓国の国民健康保険——国民向けの広報活動と意識調査」, 『健保連海外医療保障』, No. 127, 55-74 頁, 2021.3
- 単著, 金成垣, 「文在寅政権下の社会保障制度改革」, 『週刊社会保障』, No. 3134, 48-53 頁, 2021.8
- 単著, 金成垣, 「코로나 19 속 일본 상병수당의 대응과 개혁과제 (コロナ禍の日本における傷病手当の対応と改革課題)」, 『국제사회보장리뷰 (国際社会保障レビュー)』, No. 19, 38-50 頁, 2021.12
- 単著, 金成垣, 「20 世紀の韓国——なぜ福祉国家の発展がなかったのか」, 『韓国朝鮮文化研究』, 第 21 号, 37-61 頁, 2022.3

##### (3) 書評

- 金成垣, 「崔佳榮著『韓国の大統領制と保育政策——家族主義福祉レジームの変容』, 『現代韓国朝鮮研究』, 第 20 号, 75-78 頁, 2020.12

##### (4) 学会発表・講演

- 国内, 金成垣, 「これまでの国際比較研究, これからの国際比較研究: 日韓を中心に」, 日本社会福祉学会第 69 回秋季大会「留学生と国際比較研究のためのワークショップ」, オンライン, 2021.9

#### 3. 主な社会活動

##### (1) 学会

- (国内) 社会政策学会, 日本・東アジア専門部会事務局, 2010.9～
- (国内) 社会政策学会, 幹事, 2019.5～2020.5
- (国内) 福祉社会学会, 庶務理事, 2019.6～2021.6
- (国内) 社会福祉学会, 国際学術交流促進委員, 2018.6～2022.5
- (国際) 社会保障国際論壇, 事務局, 2010.9～
- (国際) 韓国社会政策学会, 国際協力委員, 2012.6～

(2) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

(研究機関) アジア研究所, 機関誌『アジア経済』編集委員, 2020.4～